

未来を拓く あなたの力を教育現場で活かしてみませんか

～新潟市教育委員会表彰 受賞者からのメッセージ～

令和7年10月2日（水）新潟市教育委員会表彰式を行いました。

表彰された皆さんから、これまでの経験を踏まえて、学校園で働くことの魅力ややりがいを語っていただきました。



子どもとともに夢中になる

日々、子どもの小さな発見から、その先のワクワクするような世界と一緒に楽しんでいます。様々な子どもの見方・考え方に触れながら、一人一人を理解していくことは、常に私にとっての課題ですが、教育の面白さでもあると実感しています。

子どもたちとワクワクすることに取り組み、共に夢中になって創る喜びを味わうことができる教師という仕事は、とてもやりがいがあります。

（幼稚園教諭）

子どもたちの心に虹をかける

教師の仕事は大きなやりがいには満ちています。しかし、子どもたちの学校生活はよいことばかりではなく、心に冷たい雨が降る試練の時もあります。そんな時は、そっと寄り添いながら隣で傘をさし、心に虹がかかるのをともに待つのが教師の役目だと思います。子どもたちとともに悩み、ともに成長し、「誰もが明日もまた来たい」と思える学級を創り上げる喜びは、何にも代えがたい魅力です。

（小学校教諭）

仲間とともに子どもたちを支える

子どもたちは、「成長したい」という純粋な思いをもっています。教員は、その願いを叶えるべく毎日試行錯誤できる素晴らしい仕事です。また、私たちの職場には、困った時に一緒に考え、支えてくれる仲間がいます。何歳になっても子どもたちのために一緒に学ぶ仲間もいます。

学校は子どもも大人も笑顔になることができる場所です。安心して教員を目指してください。

(小学校教諭)

子どもたちの望ましい姿をさらに伸ばしたい

私は、どの子どもにも必ずある「望ましい姿」に着目し、その姿を伸ばすことを信条として関わってきました。その中で確信したことは、子どもの成長を目の当たりにする喜びと困難を乗り越えた達成感は何事にも代えがたいものであるということです。

教育への情熱は、子どもたちの人生を変えます。そして、その「決定的な瞬間」に立ち会えることができます。それこそが教職の魅力です。

一緒に子どもの望ましい姿を伸ばしていける日を楽しみにしています。

(小学校教諭)

教師の仕事は人生そのもの

「人を幸せにして、自分も幸せになる」

それが教師という仕事の魅力です。90歳の祖母が曾孫を見て「目が輝いている」と言ったことがきっかけで、私は子どもの目に注目するようになりました。「わかった」「できた」と感じた瞬間、子どもの目はきらきらと輝きます。その一瞬に立ち会えることが、教師の大きなやりがいです。誰かの笑顔を引き出し、自分も笑顔になれる。教師という仕事は、私の人生そのものです。

(小学校教諭)

「つながり」は私の財産

たくさんの人とのつながりが増えるのが教員の魅力の一つだと思います。生徒や保護者、地域の方、そして教職員とのつながりで、「様々な人のおかげで今の自分がある」「人とのかかわりを通して新たな考えを知る」など、自分を成長させてくれました。これは私の財産です。これからもたくさんの人と出会い、新たなつながりができていくのが楽しみです。

(中学校教諭)

子どもたちの笑顔を増やすために学び続ける

教師とは、人の生き方に深く関わる、誇り高く厳粛な仕事であると自負しています。振りかえると私自身、そのスタート時点では、指導力がまったく足りていませんでした。しかし、経験を重ねる中で、先輩方から多くのことを学び、子どもたちの姿からも多くの気づきを得て、初任の頃から少しずつ力をつけてきたという自覚があります。

私は、これからも人との関わりの中で学び続け、厳かな思いを胸に、子どもたちと真剣に向き合っていきたいと思います。

(中学校教諭)

生徒の明るい未来を信じて

生徒の将来の幸せを願い、私は何ができるのだろうと考えて実践してきました。今まで下を向いていた生徒が、卒業するときには未来に向かって明るい笑顔で学校を旅立っていく。その姿を見るとそれまでの努力が報われると同時に、明日への活力になります。高校生活は長くはありませんが、大きく成長する日々であり、そこに関われることを私自身誇りに思いながら充実した日々を送っています。

(高等学校教諭)

ともに生き、探究する喜び

私たち教師は、子どもたちの価値観をつくるという意味で、子どもたちの心の中にともに生き続ける存在であるといえます。教師の仕事は「子どもたちがよりよく生きていくためには、どういう価値観をどのように持たせるべきか」という問いに対する探究の連続です。この探究は難しいですが、自分の人生も豊かにしてくれる奥深さと、子どもたちの成長を間近で実感する喜びに満ちています。人生を味わい尽くすのもってこいの職業だと思います。

(高等学校教諭)

やりがい「つなぐ」役割 「つなげる」役割

養護教諭の仕事は、救急処置や健康相談、保健教育など多岐にわたります。これらに共通するのが「つなぐ」ということです。救急処置は「適切に医療へつなぐ」、健康相談は「学級担任・保護者・外部機関へつなぐ」、そして保健教育は「子どものよりよい未来へつなぐ」。

養護教諭は、保健活動を通して子どもたちの笑顔や成長へつなぐ、やりがいと魅力あふれる仕事です。未来へつながる教育を、新潟市でともにチャレンジしてみませんか。

(小学校養護教諭)

子どもたちの「笑顔」と「元気」を支えたい

養護教諭のよさは、子どもの心と体の健康を支える重要な存在である点です。けがや病気への対応だけでなく、健康相談やメンタルケアを通して、一人ひとりの成長を見守ります。また、保健指導や予防教育を行い、子どもたちが自分の健康を守る力を育てることもできます。学校全体の安心・安全な環境づくりに貢献できる点も大きな魅力です。

子どもたちの「元気」と「笑顔」を支えるやりがいのある仕事だと思います。

(中学校養護教諭)

情熱と想いを胸に

学校事務職員は、子どもたちの学びを支える「教育の土台」を築く、重要な役割を果たしています。総務や財務などの業務を通じて学校運営に深く関わり、教師が教育に専念できる環境を整えることで、確かなかたちで教育に貢献しています。子どもたちが安心して学べる環境を支え、未来を担う力を育むことこそが、この仕事の大きな魅力です。

教育への情熱と地域への想いを胸に、私たちとともに新しい学校づくりに挑戦してみませんか。

(特別支援学校事務職員)

こどもたちのために

用務員として私が大切にしているのは、子どもたちのことを第一に考えて仕事に取り組むことです。樹木の選定や草刈り等、外回りを常にきれいにしておく、また、校内施設の不具合をすぐに修繕することで、子どもたちが落ち着いて学習に取り組む環境をつくることができます。

学校全体の環境を整えることにより、子どもたち、教職員、地域の人に喜んでもらえる用務員の仕事はとてもやりがいがあります。

（小学校用務員）

学校を支えるために

私は、いつ誰が見てもきれいな学校と思ってくれるために、樹木の剪定や校内の整備、グラウンド周辺の雑草の処理など、丁寧な作業を心がけています。学校をきれいに保っていると、地域の皆さんから「きれいになったね」と声をかけられることがあり、そのたびにとても嬉しくなります。破損箇所などもできるだけ早く見つけて修理するよう努めています。

教職員の皆さんは日々忙しいので、「少しでも力になりたい」、「自分にもっとできることはないか」と常に考え、これからも学校のために力を尽くしていきたいと思っています。

（中学校用務員）

受賞者のみなさんから素敵なメッセージをいただきました。教育に携わることへの魅力ややりがい、喜びがあふれており、子どもたちの成長はもちろんですが、自分自身の成長や生きがいにもつながっているように感じました。

子どもたちは「家族・学校・地域の宝物」、そして「未来の宝物」です。宝物である子どもたちの幸せ、そして自分の幸せのために、**あなたの力を教育現場で活かしてみませんか！**